

平成23年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校 4年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きか」という質問に対し「好き」と答えている児童が多く、どの教科も「とても好き」という肯定的な回答が多かった。学習時間は、平日が30分くらいで、休日にも同様に30分くらいは行っている。授業への取り組みについては、「授業の始まりには席に着いている」「先生や友達の話、最後まできちんと聞いている」という肯定割合は高く、落ち着いて学習に取り組むことができている。また「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」という質問に対する肯定割合も高く、高い学習意欲をもっていることが伺える。「調べたりまとめたりするとき、コンピューターを使うことができる」割合は9割を超えているので、コンピューターに接する機会を増やし、幅広いコンピューターリテラシーをさらに向上させたい。
- ・ 家庭学習に関しては、宿題についてはほぼ全員が提出できているが、「テストで間違えた問題は、もう一度やり直している」「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」ことへの肯定比率が低く自主学習は十分に定着していないと考えられる。また、「家の人の学習への関心」には各家庭によりばらつきがあり、関心が低い家もあるので家庭への啓発の機会を設ける必要がある。
- ・ 「世の中のことへの興味・関心」については肯定の割合が、あまり高くはない。新聞やニュースなどを意識的に見るようにさせ、世の中の情勢への興味・関心を高める働きかけの工夫をしたい。
- ・ 家の人、友達、先生に対してのあいさつの肯定割合は高いが、地域の知っている人へのあいさつの肯定割合は低い。あいさつすることの大切さをしっかり指導して、進んで自分から誰にでもあいさつできるように働きかけたい。
- ・ 「学校生活に満足している」という肯定割合は高く、市の平均を上回っているが、更に教育相談等で具体的に情報を収集し、個々の児童のニーズに対応したい。「学校のきまりやルールを守っている」という肯定割合は高くなっている。
- ・ 平日の読書時間は個人差はあるものの、短い児童が多い。しかし、土・日曜日は時間に余裕があるからなのか、読書時間は平日よりも長くなっている。
- ・ 学校がある日の寝る時間については、5割程度の児童が午後9時前までには寝ている。反面、10時過ぎに寝る残りの5割に対しては家庭にも協力を求めたい。早寝早起きをするようにしているという肯定割合は高いが、実際に、「朝、自分で起きることができますか。」「夜、決まった時間に寝ていますか。」という肯定割合はやや低くなっている。
- ・ 「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか。」という質問に対しては、ほとんどの児童が1時間以内であると回答している。家庭で親と約束をして、きちんときまりを守っているようである。
- ・ すべての児童が毎朝朝ご飯を食べてきていると回答していて、よい食事習慣がついてきており、好き嫌いをしないで食べるようになってきているようである。好き嫌いについては、今後も指導の工夫改善をしながら家庭にも呼びかけていきたい。
- ・ 携帯電話の所有率は昨年度より少なくなっている。今後、所有する機会が多くなるかもしれないので、携帯電話の安全な使用、危険性、家庭でのルールを決めて使うなどの指導をしていく必要がある。